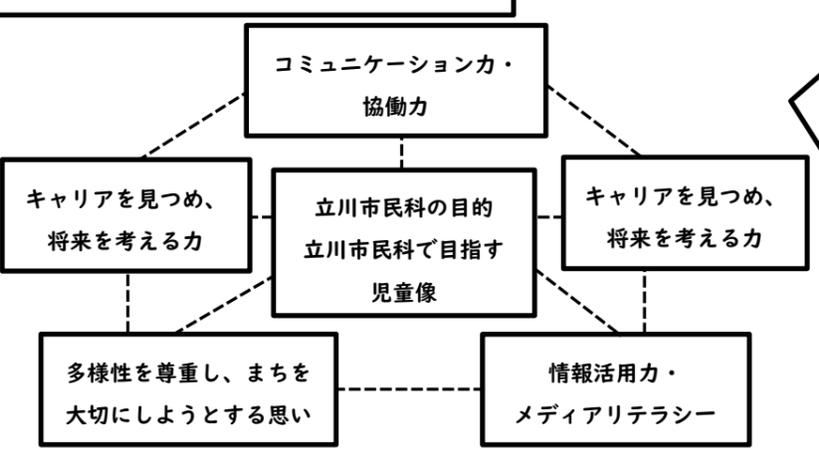


立川市民科について

『立川市民科』では、地域に根ざした探究的な学習等を通して、市民性を育むことにより、多様性を尊重し、世界の人々とも力を合わせ、「よりよい社会」の実現に向け、主体的に考え、行動する市民を育成することを目的としています。

資質・能力と目的及び目指す児童像の関係



本校では全学年において重点的に育みたい資質・能力を「多様性を尊重し、まちを大切にしようとする思い」とし、それに関連する単元を設定しています。その他にも1、2年生では、「コミュニケーション力・協働性」、3年生以上では「課題解決力・社会参画力」「情報活用力・メディアリテラシー」、6年生では「キャリアを見つめ、将来を考える力」に関連する単元を設定することで、6年間で全ての資質・能力を網羅できるように計画をし、取り組んでいます。

3年生【調べて安心！地域安全マップ】

3年生では、学区の「犯罪が起こりやすい場所」について調べ、安全マップにまとめました。調べ学習の当日は、保護者の方にご協力いただいたことで、詳しく調査をすることができました。また、「110番の家」についても調査をしたことで、多くの方が見守ってくれていることも知ることができました。今後は、この調べたことを下級生に発表していこうと計画しています。

【立川市民科担当よりお願い】

立川市民科では、保護者や地域の皆様にご協力をお願いする学習が多くあります。立川市民科を通して、地域を知り、地域を大切にしたい思いを育み、地域と関わり、主体的に考え、行動し、よりよい地域づくりに参画する児童を育てるために、今後ともご協力の程、よろしくお願ひいたします。
(立川市民科推進部：小林俊介 石川真履 津田紗英子)

特別支援教育について

子どもたちの苦手なこと、成長の仕方などは一人一人異なります。周囲の人たちが、少しサポートをしたり、困りごとや悩みごとに寄り添ったりすることで、子ども自身が困難を自分で乗り越えたり、解決できたりすることがあります。

学校での悩み事

- ・友達と仲良くできているかな…
 - ・勉強についていけているかな…
 - ・物をよくなっていくかな…
- など

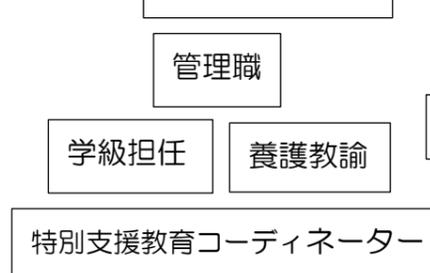


家での悩み事

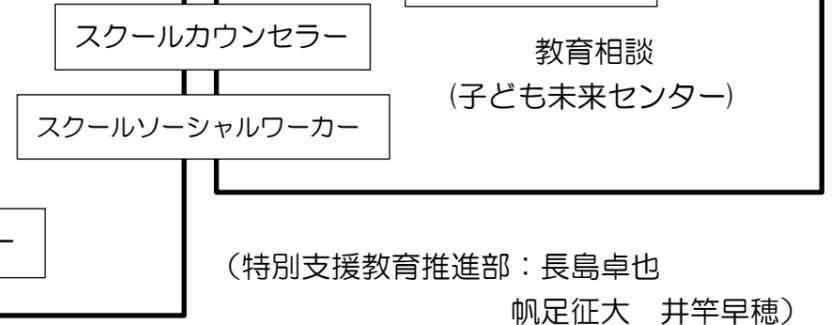
- ・ゲームがやめられない…
 - ・なかなか朝起きられない…
 - ・言うことを全然聞いてくれない…
- など

困り感やつまずきへのサポートの仕方は一人一人様々で、正解やゴールが示されておらず、悩まれる保護者の方も少なくありません。お悩みの際は、様々な相談先があります。子どもたちが自信や意欲を高めて、生活や学習ができるように、学校、家庭、地域と連携してサポートしていくことが大切になります。少しでも気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

校内の相談先



校外の相談先



非認知能力を意識した学校行事について

本校では、学校教育目標の「心豊かで思いやりのある子」を重点に置き、子どもたちの非認知能力の向上を目指しています。テストなどで測れる「認知能力」とは違い、思いやりや自信、忍耐力など数値化することの難しい能力のことを「非認知能力」といいます。これから「行き先が不透明で予測困難な時代(VUCA)」に生きる子どもたちが自分自身を支えるものとして必要なものだと考えています。

今年度の第一小学校では、自己理解(自分のことを知ること)、他者理解(仲間のことを分かろうとすること)を軸に「主体性」「向上心」「協調性」「粘り強さ」の4つの力に焦点を当て、行事や日々の教育活動の中で意識しながら取り組んでいます。

運動会や音楽会などの行事だけでなく、水泳指導やたてわり班活動、クラブや委員会活動でも、子どもたち自身が非認知能力を意識して目標を立てて活動しています。

非認知能力を意識して行事に取り組んできたことで「苦手な水泳にも粘り強く取り組めた」や「次の行事にも向上心をもって取り組んでいきたい」と前向きな声が多く聞こえるようになってきました。2学期には運動会や音楽会もあります。これからも非認知能力を意識した声掛けや取り組みを通じて、子どもたちの心を育てていきます。
(特活主任：山本 貴司)

☆1学期の取り組みを紹介します！☆

【たてわり班活動 ～異学年の活動の中で育む非認知能力～】

たてわり班活動では1年生から6年生までが、一つの班になり活動しています。今年度は、6年生が非認知能力を意識しためあてを選び、その目標に沿った遊びを考えています。最後まで諦めず活動に取り組む(粘り強さ)やみんなで協力し、仲良くなろう(協調性)などのめあてをどのような企画で達成できるかを考えています。1学期には「今日は、みんなで仲良くなるために協力する遊びを考えました」と話す6年生や、少し難易度の高い遊びに上級生が下級生をサポートしながら挑戦したりする姿が見られました。

